

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅰ 演習	必修・選択の別	選択		
担当者氏名	松下美樹	開講期	1年前期	単位数	1

【授業の主題】

人はどのような状態にあっても、尊厳ある営みが続いていくことが重要である。「生活」とは何かを理解し、生活を支援する為の様々な視点を把握し、基本となる介護技術の意義や目的を学習する。

【到達目標】

- 1) 利用者を生活者として捉える視点、ICFについて理解する。
- 2) 自立支援に欠かせない、尊厳の保持、自己選択・自己決定の支援、介護予防の重要性を理解する。
- 3) 演習の基礎となる手洗いや、ベッドメイキングについて学習し技術を身につける。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 生活の理解
- 第3回 生活支援の基本的な考え方 ①介護福祉士と生活支援
- 第4回 生活支援の基本的な考え方 ②生活支援の必要な人を理解する
- 第5回 生活支援の基本的な考え方 ③ICFの視点と生活支援
- 第6回 スタンダードプリコーション（標準予防策）
- 第7回 快適な環境をつくる技術 ①手洗いの仕方
- 第8回 快適な環境をつくる技術 ②ベッドの取り扱い方
- 第9回 快適な環境をつくる技術 ③リネンのたたみ方
- 第10回 快適な環境をつくる技術 ④ベッドメイキング
- 第11回 快適な環境をつくる技術 ⑤ベッドメイキング
- 第12回 快適な環境をつくる技術 ⑥ベッドメイキング～技術確認
- 第13回 日常生活行動における意義と目的（身じたく・移動）
- 第14回 日常生活行動における意義と目的（食事・排泄）
- 第15回 日常生活行動における意義と目的（清潔・睡眠）

【授業実施方法】

講義を基に、演習を行う。

【授業準備】

演習の基礎となる技術は、エビデンスを考え正しい技術を身につけるようにする。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

「新・介護福祉士養成講座6生活支援技術Ⅰ第4版」

「新・介護福祉士養成講座7生活支援技術Ⅱ第3版」＜共に中央法規＞

【参考文献】

適宜、紹介します。

【成績評価方法】

技術チェック・前期定期試験 90%、出席状況・授業参加姿勢 10%で評価。

【学生へのメッセージ】

日常の生活を振り返りながら、「生活」の理解、生活を支援することの考え方を学習していきます。演習にも積極的に参加し、予習・復習を習慣化しましょう。